

大阪長野道院だより



年頭のごあいさつ



2024年の世界情勢を振り返ってみますと、ウクライナ戦争や中東戦争は終わりが見え
ず、今も多くの犠牲者が生まれています。隣国では、台湾の独立に対する緊迫した状況が
見られ、韓国でも大統領の発した非常戒厳令をめぐって対立が続いています。一方、わが
国では、政治と金の問題が大きく取り上げられ、国政に対する国民の信頼が大きく低下し
ています。こうした様々な問題の根本には、人の尊厳を疎かにし、自分たちの利益だけを
追求する、行き過ぎた“自利”の心があるのではないのでしょうか。自分だけが正しいとの認識のもと、自分
たちだけの利益を守るための行動は、必ず他の人との衝突を生み、争いを生じさせることとなります。

私たち少林寺拳法の拳士は、“自利”の心には必ず“利他”の心を添えて、“自他共楽”の精神を大切にす
ることを教えられて来ました。そして、それを道場の中だけでなく、自分の置かれた社会の中で実践して来
ました。今年はさらに、社会の情勢に流されることなく、“自己確立”と“自他共楽”の精神に基づき、日々
の修練に向き合うとともに、家庭や学校、職場や地域など、身近な社会から理想境を作り広げていくこと
を目指して、精進する年にしていきたいと思えます。

1・2月の主な行事予定

1月19日(日)	昇級考試(3級以上) 新春法会	13:30~15:00 15:00~16:30	三日市道院 //	※一般拳士のみの参加です
1月26日(日)	昇段考試・武専	8:30~17:00	吹田市「洗心館」	
2月8日(土)	昇級考試(8~4級)	9:00~11:00	武道館	
2月24日(月・祝)	考試員・審判員講習会	9:00~16:30	吹田市「洗心館」	※四段以上の拳士

“笑い声”と“気合”の入った「稽古納め」

2024年の稽古納めは、田井鉄二先生の企画による面白く充実したゲームと演武のプログラムを、みんな
で楽しみました。チームは「そーすけ」「りゅーが」「はんな」の3チーム。ゲームは3種目で、まず始めは
“特製ボール”を、モップを使ってリレーするゲーム。普段の掃除のテクニック?が生かされます。次は来
年の干支にちなんで、蛇のしっぽになった人にボールを当てるドッチボール。チームで守る協力体制が重要
です。最後は、タグを二本、腰につけた全員鬼ごっこ。俊敏さと八方目で周りを見る力が必要です。どのゲ
ームも盛り上がり楽しめました。その後は恒例の団体演武対決です。各チームとも20分程度の練習時間し
かりありませんでしたが、みんなで話し合い、協力して、素晴らしい演武を披露してくれました。演武練習の
途中で、採点における重点事項として、「気合」を示したところ、今年最高の気合の入った団体演武となり、
審査員全員が感激しました。2024年を締めくくるにふさわしい稽古納めでした。



表彰拳士の紹介

※()内は「特別稽古」を含む年間の参座日数です

- | | | |
|---------|-----------|-------------------|
| 功労賞(2名) | 大年 進(106) | 杉本真一(96) |
| 精勤賞(3名) | 中西朋美(101) | 砂原彩奈(98) 林田崇佑(90) |
| 努力賞(3名) | 砂原美海(88) | 砂原采花(86) 田井鉄二(86) |

